【実行団体用】

事業完了報告書

提出日：2023 年　4 月　7 日

1．事業概要

（1）実行団体名：特定非営利活動法人日本キャリア開発協会
（2）事業名　：　がん患者の就労移行と中小企業の両立支援
（3）事業実施期間：2020 年 4 月～2023 年 3 月
（4）資金分配団体名：公益財団法人日本対がん協会

2. 規程類の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1）事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑　完了　／　☐　整備中
→上記で「整備中」を選択した場合、整備できていない理由を記載してください。また、事業開始時と比較して、整備状況が改善された点を記載してください。
（2）　整備が完了した規程類を自団体の web サイト上で広く一般公開していますか。
☒　全て公開した　／　☐　一部未公開　／　☐　未公開
→上記で「一部未公開」または「未公開」を選択した場合、その理由と公開予定日を記載してください。
（3）　変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。
☑　変更があり報告済　／　☐　変更があったが未報告　／　☐　変更はなかった
→上記で「変更があったが未報告」を選択した場合、その理由を記載してください。

3. ガバナンス・コンプライアンス体制の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1）　社員総会または評議員会、理事会は、規程類の定めるとおりに開催されていますか。
☑　はい　／　☐　いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。

（2） 内部通報制度は整備されていますか。
☑ はい ／ □ いいえ
→上記で「はい」を選択した場合、設置方法を以下から選んでください。（複数選択可） ☑ 内部に窓口を設置 ／ □ 外部に窓口を設置 ／ □ JANPIA の窓口を利用
（3） 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
□ はい ／ ☑ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。 問題視される事案が生じていないため。（違反のおそれのある行為が認められるときは、調査のうえ委員会開催の判断を行う。）
（4） 関連する規程類や資金提供契約の定めるとおりに情報公開を行っていますか。
☑ はい ／ □ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（5） コンプライアンス責任者を設置していましたか。
☑ はい ／ □ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（6） ガバナンス・コンプライアンス体制の整備や強化施策を検討・実施しましたか。
☑ はい ／ □ いいえ
→【任意】上記で「はい」を選択した場合、どのような検討・実施をしたか事例を記載してください。 規程の整備、周知
（7） 報告年度の会計監査はどのように実施しましたか。（実施予定の場合を含む）
□ 外部監査 ／ ☑ 内部監査 ／ □ 実施予定もない ※（複数選択可）
→上記で「外部監査」または「内部監査」を選択した場合、その実施者を記載してください。 団体監事：竹林　俊二
（8） 本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。
□ はい ／ ☑ いいえ

4. 広報実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、設問に回答してください。

（1）シンボルマークの活用状況
☑ 自団体のウェブサイトで表示している ／ ☑ 広報制作物に表示している ☐ 報告書に表示している ／ ☑ イベント実施時に表示している ☐ その他 →「その他」を選択した場合は記載してください （自由記述）：

最終年度の広報実績について記載してください。

広報種類	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB など）	有	・読売テレビ放送「かんさい情報ネット ten.」 2022 年 12 月 20 日（火）放映の番組内で本事業の取組を紹介いただいた。 ・日本講演新聞（2022 年 11 月 7 日発行）イベント広告掲載。「Working Cancer Survivor's Day 2022」 ・日本講演新聞 2967 号（2023 年 3 月 6 日発行）編集者手記によって本事業の取組を紹介いただいた。 ・会報誌 JCDA ジャーナル 83 号（5 月 25 日・約 2 万部発行）にて本事業を紹介。 ・会報誌 JCDA ジャーナル 84 号（8 月 10 日・約 2 万部発行）にて本事業を紹介。 ・会報誌 JCDA ジャーナル 85 号（11 月 10 日・約 2 万部発行）にて本事業を紹介。 ・会報誌 JCDA ジャーナル 86 号（1 月 10 日・約 2 万部発行）にて本事業を紹介。
広報制作物等		・2022/6/3 事団体ウェブサイト上の事業専用ページを改修。（https://www.j-cda.jp/ribora/） ・イベント「Working Cancer Survivor's Day 2022」LP 制作（https://www.j-cda.jp/event-lp/2022/1123event/）

		・イベント「Working Cancer Survivor's Day 2022」チラシ制作 ・資金分配団体（日本対がん協会様）監修の休眠預金活用事業紹介動画。 （https://www.youtube.com/watch?v=qQwFud4bnBY）
報告書等		

5. その他（本助成を通じて組織として強化された事項や新たに認識した課題、今後の対応/あればよいと思う支援や改善を求めたい事項など、自由にご記載ください。）

団体として助成金事業に初めて取組み、社会一般に向けた事業報告や情報開示を経験したことで、「公」にする意義やそのためにかかるコスト・大変さも含めて、学びになりました。 いっぽうで、私たちの提出した情報がどのように一般の方々の目に触れるのだろうかと思い、休眠預金活用事業サイトを閲覧した際に、閲覧者が事業活動している側の視点を得られる（現場の感覚を得られる）ようなサイト仕様だと、有意義だろうと感じました。例えば、事業活動の本旨・提言・知見の共有等、団体が活動を経て積極的に社会に届けたい文脈が、まず目に留まるよう訴求性を持たせる仕様だと、閲覧者の興味を惹きつけるだろうと思います。いわゆる適時開示的な情報公開とメッセージ性のある発信とに、色分けがあると、実行団体としても、より主体性をもって各種報告に取り組みやすいだろうと思いました。

【添付資料】

活動の様子がわかる写真　5 枚程度

JANPIA の事業報告書や WEB サイト、SNS 等で公開可能な写真を 5 枚程度（1 枚 2MB 以下）ご提出ください。（肖像権・著作権に十分にご注意ください。）

それぞれどんな場面の写真なのか、1 枚あたり 50 字から 200 字程度で説明を記載していただきますようお願いいたします。

※ご提出をもって JANPIA での使用にご了承いただいたこととし、使用時に改めて確認はいたしませんので、ご承知のうえ、使用に差支えのない写真（使用許可をとった写真や個人が特定される写真を避ける等）を選んでいただきますようお願いいたします。

2022/11/23 治療と仕事の両立支援　啓蒙イベント「Working Cancer Survivor's Day 2022」当日会場の様子（現地会場とオンラインで同時開催）

2022/6/5 治療と仕事の両立支援　啓蒙イベント「JAPAN CANCER SURVIVORS DAY 2022（主催：日本対がん協会）」でのブース出展の様子

2022/6/5 治療と仕事の両立支援　啓蒙イベント「JAPAN CANCER SURVIVORS DAY 2022（主催：日本対がん協会)」にて本事業「りぼら」の紹介スピーチの様子

以上